1 排水ホッパーの取り付け（つづき）

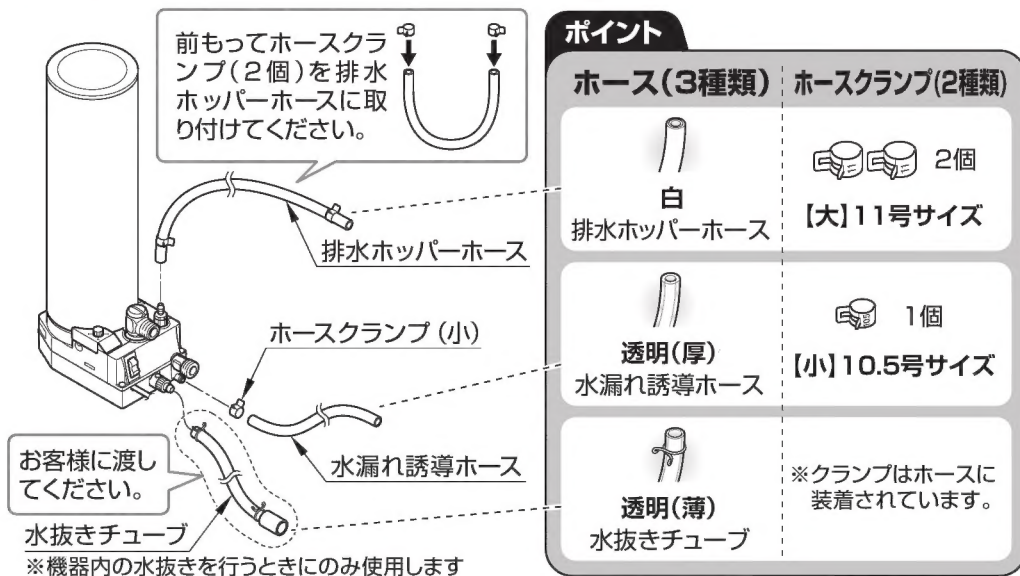
❸ ホッパー継手に排水パイプを取り付ける

※排水トラップがG2おねじ以外のキッチンの場合 ➡P.16の対応一覧を参照ください。

2 排水ホッパーホースと水漏れ誘導ホースの取り付け

魔法びん電気即湯器に排水ホッパーホース、水漏れ誘導ホースを取り付ける。

ポイント

ホース(3種類)	ホースクランプ(2種類)
白 排水ホッパーホース	2個 【大】11号サイズ
透明(厚) 水漏れ誘導ホース	1個 【小】10.5号サイズ
透明(薄) 水抜きチューブ	※クランプはホースに装着されています。

3 魔法びん電気即湯器の仮置き

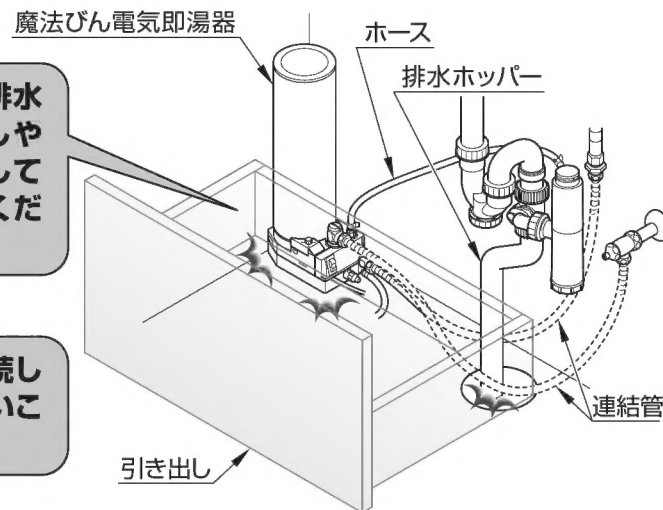
魔法びん電気即湯器をキャビネットの中に仮置きする際は、以下のことを必ず確認してください。

「引き出しタイプ」のキャビネット内に設置する場合

注意

魔法びん電気即湯器や排水ホッパーなどが引き出しや引き出しレールと干渉していないことを確認してください。

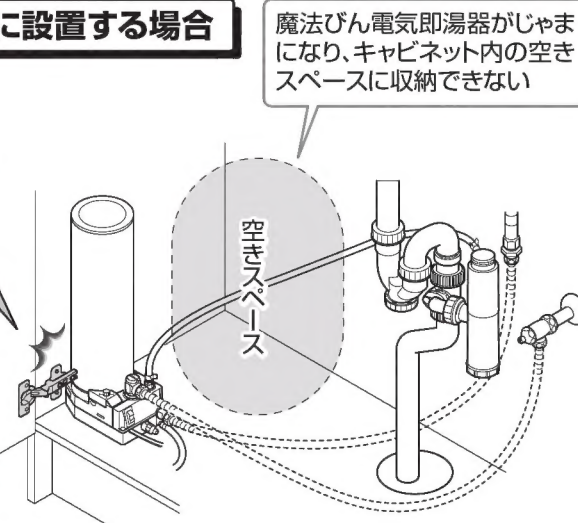
ポイント

連結管やホースを仮接続して、引き出しに干渉しないことを確認

「扉タイプ」のキャビネット内に設置する場合

注意

- **魔法びん電気即湯器が扉の丁番と干渉していないことを確認してください。**
- **扉が閉まることを確認してください。**

注意

収納のじゃまにならない位置に設置してください。

4 連結管・排水ホッパーホースの取り付け

注意

魔法びん電気即湯器と止水栓の接続はフレキシブル管を使用してください。
※鋼管などで接続するとシール剤などが内部に入り作動不良を起こす場合があります。

⚠ 注意

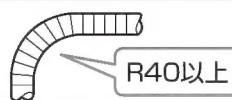
必ず実行

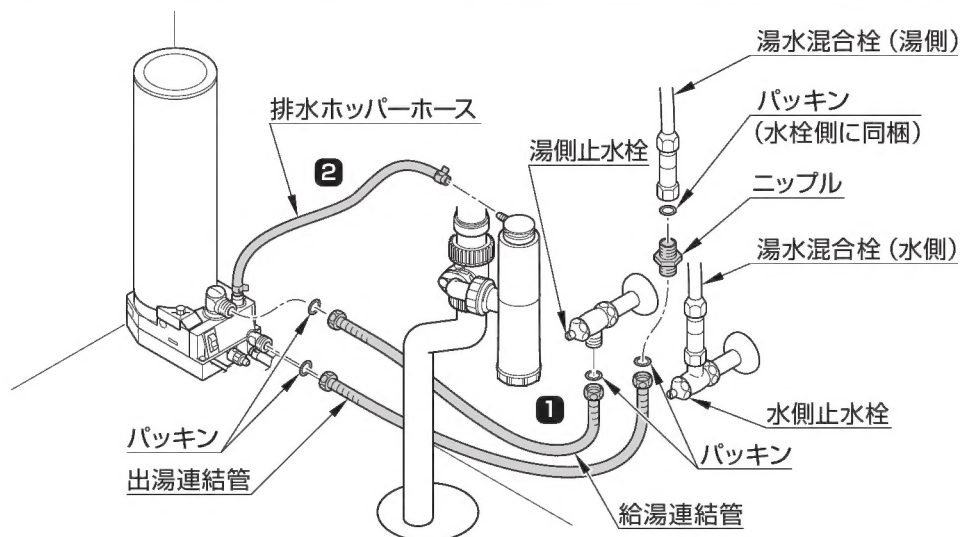
給湯口に接続する前に必ず、配管内のゴミなどを取り除くため止水栓を開けバケツ2杯（約20L）程度の湯を捨てる
フィルターを通ったゴミが機器内に入り、故障や水漏れの原因になります。

フィルター付き止水栓の掃除をする際は、いきなりふたをゆるめずに、止水栓を閉めてから行う
水が噴き出して、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

注意

連結管は極端に折らないでください。

R40以上

1 連結管を取り付ける

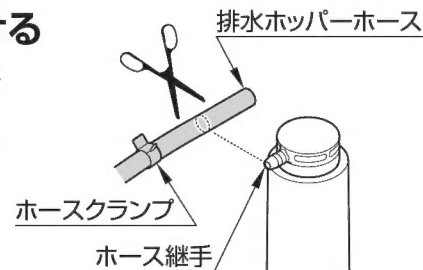
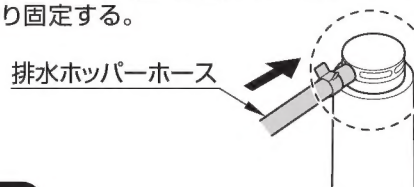
給湯連結管および出湯連結管を接続する。

注意

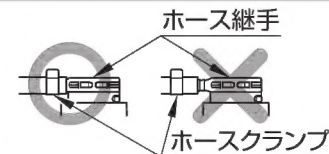
建築躯体側配管の接着剤が乾燥していない状態で魔法びん電気即湯器を取り付けないでください。
※接着剤が乾いていない状態で湯を通すと湯がにおうことがあります。
必ず接着剤が乾いていることを確認してから取り付けてください。

2 排水ホッパーホースを取り付ける

① 排水ホッパーホースがたるまないように長さをあわせてはさみなどで切断する。
※ホースをつぶさないように切断してください。

注意

排水ホッパーホースの切断面が垂直になるように切断してください。

② 排水ホッパーのホース継手に排水ホッパーホースを奥まで確実に差し込み、ホースクランプで、しっかり固定する。

ポイント

奥まで確実に差し込む

注意

- **排水ホッパーホースが長すぎると、折れ曲がり排水ができなくなります。**
- **排水ホッパーまでの間が逆勾配になっても支障はありませんが、凍結のおそれがある場合は、排水ホッパーホースの水抜きを行ってください。**
  ※P.15「7.機器内の水抜き」をご確認ください。

3 キャビネット内の部品との干渉がないことを確認する

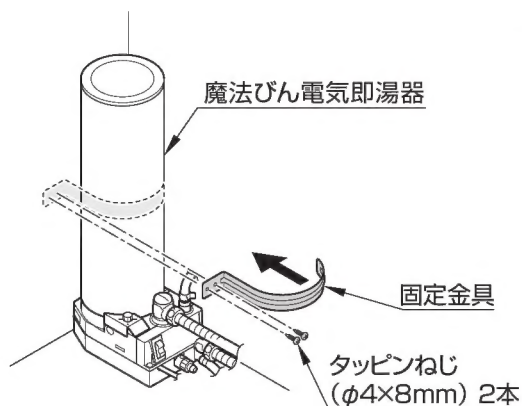
※必ずご確認ください。

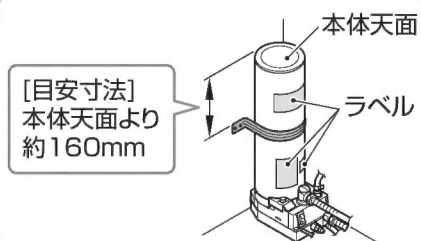
注意

魔法びん電気即湯器や排水ホッパー、連結管などが引き出しや引き出しレールと干渉していないことを確認してください。
※部品の破損や配管接続部のゆるみの原因になります。

5 魔法びん電気即湯器の固定

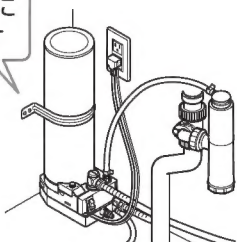
❶ 固定金具を取り付ける

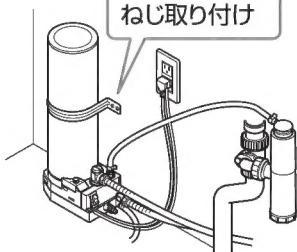
固定金具を魔法びん電気即湯器にぴったりあわせたあと、
ねじ2本でキャビネットに取り付ける。

注 意

固定金具は、ラベルに重ならないように取り付ける。

ポイント

**魔法びん電気即湯器の取付位置にあわせて、
固定金具の取り付け方向を変更できる**

《取り付け例1》

本体の左側に
ねじ取り付け

《取り付け例2》

本体の右側に
ねじ取り付け

❷ 水漏れ誘導ホースを固定する

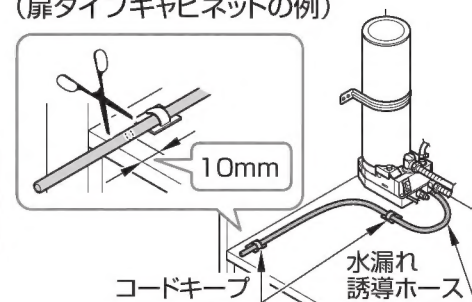
注 意

- **水漏れ誘導ホースの上に物を載せないでください。**
- **万一の製品からの水漏れの早期発見をうながすためのホースです。
必ず施工してください。**

水漏れ誘導ホースの長さをあわせて、はさみなどで切断し、コードキープで2カ所で固定する。
※ホースをつぶさないように切断してください。

注 意

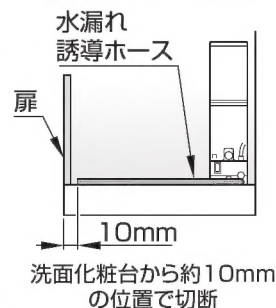
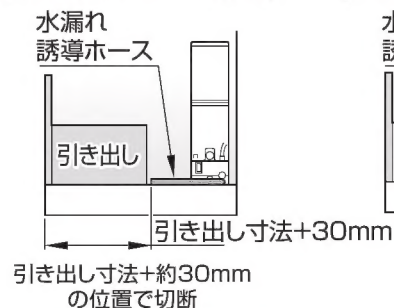
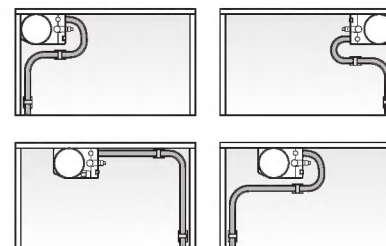
水漏れ誘導ホースは極端に折らないでください。

（扉タイプキャビネットの例）

ポイント

キャビネットのタイプにあわせて切断

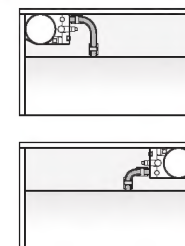
洗面化粧台から約10mm
の位置で切断

引き出し寸法+約30mm
の位置で切断

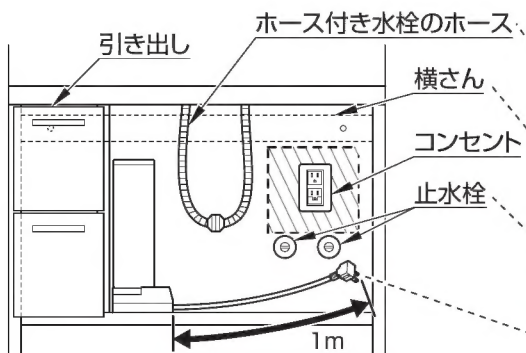
ひな壇の端面に
あわせて切断

取り回し例

《扉タイプの場合》

《引き出し・キッチンタイプの場合》

5 電気工事

⚠ 警告

禁止	**指定する電源以外では使用しない** ヒーターの断線・火災などの原因になります。
アース接続	**電気工事は、関連する法令、法規に従って必ず「有資格者(電気工事士)」が行い、アース(D種接地工事100Ω以下)工事を行う** 誤った工事を行うと故障や漏電のときに感電するおそれがあります。
必ず実行	**漏電遮断器を取り付ける** 感電や火災の原因になります。

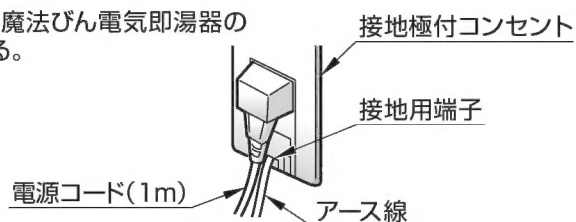
1 コンセントを設置する

電源コード(1m)が届く範囲内に、既設のコンセントがない場合、
図を参考に専用のコンセントを設置する。
※魔法びん電気即湯器の消費電力は、350W(AC100V 50/60Hz)です。
　規定の電圧以外での使用は故障の原因となりますので、絶対に行わないでください。

2 アース工事

必ず対応したコンセント工事を行い、魔法びん電気即湯器の
アース線を接地用端子に必ず接続する。

接地極付コンセント
接地用端子
電源コード(1m)
アース線

6 試運転

⚠ 注意

禁止	**タンク内に水がないときは、絶対に沸上げ運転(電源)スイッチを入れない** 空焚きとなり、故障や事故の原因になります。

1 魔法びん電気即湯器への給水

① 吸気栓･排水栓が閉まっていることを確認する。

② **給湯機の種類が「瞬間式」の場合**

給湯機の運転スイッチを「切」にする。
※リモコンがないタイプの給湯機の場合は、
　給湯機本体の電源プラグを抜いてください。

給湯機の種類が「貯湯式」の場合

給湯機の設定温度を40℃以下にする。
※給湯機の設定温度が40℃以下にできない貯湯式給湯機の場合は、
　そのまま③以降の作業を実施ください。
　その場合、水栓から水を出す際に空気が混ざることがありますが、
　しばらくの間使用していると空気の混ざりはなくなります。

③ 湯側の止水栓を開け、湯水混合栓の湯側を全開にする。

注 意

約20秒でタンク内は満水になりますが、配管やタンク内の汚れを取り除くため、5～6分程度流してください。

④ 水栓から安定して水が出ることを確認し、湯水混合栓を閉める。

⑤ 連結管接続部などからの水が漏れていないことを確認する。

⑤

⑥ **給湯機の種類が「瞬間式」の場合**

給湯機の運転スイッチを「入」にする。

給湯機の種類が「貯湯式」の場合

給湯機の設定温度を元に戻す。

注 意

フィルターが詰まると水量が少なくなりますので試運転後、フィルターの掃除を行ってください。　※掃除の方法は取扱説明書を参照してください。